



岩槻第4工場で働く宮田法子さんは、2016年11月に藤工業株式会社へ入社しました。異業種からの転職でありながらも、高いコミュニケーション能力を活かし、入社以来、前向きにスキルを習得してきました。現在は後輩社員の指導を行い、お客様からも信頼を寄せられている宮田さんが、コミュニケーションを図る上で心がけているポイントとは。お話を伺っていきます。

#### 藤工業に入社したきっかけや、ご経歴を教えてください。

引っ越しを機に転職活動をした際、求人募集を見つけたのが知ったきっかけです。もともと住宅の間取りを見るのが好きで、戸建住宅に携わる仕事だという点にひかれました。前職時代は接客業をしており、デスクワークは未経験。そのため不安もありましたが、出会った縁を感じてチャレンジしてみようと思い、入社を決めました。入社以来、主に積算業務に携わっています。

#### コミュニケーション能力が評価されていますが、心がけていることはありますか。

自分ではコミュニケーション能力が人よりも優れているとは思っていませんが、前職時代に培った接客スキルが、藤工業での業務にも活かしているのだと思います。また、私はきょうだいが多く、大家族の末っ子として育ちました。一番上とは年齢が20歳も離れています。子どものころから人に囲まれていたのと、年上の人と話す機会も多かったため、コミュニケーション能力が育まれていったのかもしれません。

コミュニケーションをとる上で意識しているのは、基本的なことですが、嘘をつかず素直な気持ちで対応すること。特に、わからない内容を理解したふりをしないことが大切だと考えています。入社したばかりのころは、わからないことだらけでした。そのような際に、わかったふりをして進めようと、後で必ず失敗するでしょう。お客

様や周囲の人にも迷惑がかかるため、はじめから「わからないので教えてください」と素直に聞くように徹底してきました。

ときには、「もっとわかる担当に代えてくれ」と言われたときもありました。しかしそれでも丁寧に教えてくださったお客様もいらっしゃり、その方とは現在も良いおつき合いをさせていただいています。嘘をつかず正直に伝えたことで、最終的に信頼関係の構築につながったと思っています。

#### 失敗してしまった経験はありますか。

入社して3年ほど経過したころ、お客様がご注文されたものと異なる商品が搬入されてしまったことがありました。私が受け付けをしたのですが、思い込みで別の商品を発注してしまったのが原因でした。ちょうど仕事に慣れてきたタイミングで、「これで合っているだろう」としっかり確認せず、勝手に判断してしまったのです。お客様や工場、配送の担当者など、さまざまな方に迷惑をかけてしまい、大変反省しました。とても落ち込みましたが、同じ失敗は繰り返さないようにしようと、たとえ慣れている作業だとしても「間違えているかもしれない」と危機感をもって確認を徹底するようになりました。

#### 宮田さんは絵がお上手だと伺っていますが、意識していることはありますか。

後輩社員に説明する際に、よく図解しています。実際に商品が使われる場面は立体ですから、私自身がよりうまく説明しようと考えた際に、絵に描くことに行き着きました。絵にすると、鉄筋が何本必要なのかが目ではっきりわかるので、ミスの防止にもつながっています。

#### 最後に、目標をお聞かせください。

2024年9月から働き方を変えて、在宅勤務に切り替えました。環境が大きく変化しましたが、通勤していたころと同じ仕事量を担い、しっかり成果を出すのが目標です。そして、ほかの社員の方にも「在宅勤務という選択肢があるのか」という気づきになれば幸いです。

「これからも会社に貢献していきたい」と、意気込みを語った宮田さん。自身の長所を仕事に活かしながら、この先も飛躍を続けていくに違いありません。

## 宮田さんってどんな人？

巻頭インタビューに登場した宮田さんに向けて、金田さんからメッセージが届いています！



積算部 住宅積算課  
主任  
かね た こうじ  
金田 晃治 さん

#### 宮田さんを一言で表すと？ コミュニケーション上手

お客様との会話・会社内での会話、どちらも良好にコミュニケーションを取っていると思います。また、発言の際は自分の主張を明確に伝えることができ、その点も上手だなと感じます。

#### 宮田さんの尊敬しているところ

お客様から可愛がられるように、仲良く話すことができる点です。宮田さんが新人の頃、まだ拾いがほとんどわからなかったときも、基礎屋さんに電話で必要事項を聞き、意思疎通ができたのには驚きました。海千山千のお客様でも臆せず話ができるところは、本当に凄いことだと思います。

#### 宮田さんへのメッセージ

いつもありがとうございます。責任感を持って仕事を進めてくださっていて、大変助かります。コミュニケーションだけでなくイラストも上手で、拾いの説明の際には上手く絵を描いて、部内の新人さんに分かりやすく説明・指導してくれ、そのおかげで部内メンバーが成長してきました。これからも様々な貢献をしてくれると思いますので、よろしく願います。

# 仕事力 流儀

## My Style

鉄筋工事部 主任

そうとめ たつや  
五月女 竜也さん



経験を重ねるほどに見えてくる、仕事のやりがいや面白さ。若手の頃にはなかなか感じることができなかった仕事の奥深さについて、ベテラン社員の五月女さんに詳しくお聞きました。

### 現在の業務内容

ビルやマンションなどの建設工事現場で組み立て時に使用する鉄筋材料の拾い出しを行っています。ひとつの例ですが、建築物の床を施工する際、鉄筋を格子状に組む工程があります。ビル、マンションの構造は、人間に例えると、外装・タイルが「皮膚」、筋肉が「コンクリート」、骨が「鉄筋」です。鉄筋工事の仕事は、床施工時の鉄筋を格子状に組む工程のように、建物の骨組みを組立てる仕事で、そのときに必要な鉄筋の種類や本数を建物のルールに従って計算していくのが拾い出し作業です。

### 仕事を「面白い、奥深い」と感じた経験

#### 計算通りに材料が納まったときの充実感

自分が拾い出しをした材料を現場に搬入してもらい、職人の方が図面を見ながら取り付けていくのですが、計算通りにぴったり納まったときはやはり気持ちが良いです。職人の方から「やりやすかったよ」と声を掛けていただくこともあり、やりがいに繋がっています。

製造業は繰り返しの作業が多いイメージがあるかもしれませんが、すべての建物が同じではないため、毎回仕様書などを確認しながら作業を行う必要があります。図面とも照らし合わせつつ、一つひとつ間違いのないよう心掛けています。

### 藤工業だからこそできる仕事

#### 手掛けた建物が街に残っていくという感慨深さ

他社での経験がないため主観ではありますが、自由にのびのびと仕事をさせてもらっています。社員の意見を尊重する雰囲気があり、自分がこうしたいと思うことを上司に相談すると、すぐに現場の方に確認を取ってもらえるような風通しの良い環境です。

また、外を歩いていてふとしたときに自分が仕事で携わった建物の前を通ることがあります。それは、藤工業というグループ会社でさまざまな建物を手掛けているからこそ。自分の仕事が町に残っていくことはとても感慨深いことだと思います。

### 若手社員へのメッセージ 技術と知識の両方を高め、壁を乗り越えていく

この仕事には、技術と知識の両方が必要です。それらを突き詰めていくことで、仕事の幅が広がり、新しいことを経験できるのが面白いところです。大切なのは、各現場で臨機応変に対応していくこと、困ったときは自分で調べて知見を深めること。これにより壁を乗り越えていくことでスキルアップしていけると思います。

# 私が 藤工業に入社したワケ!

会社を選ぶのにはワケがある!そして気付いた魅力もある!今回は第三工場戸建て部の千月さんに、入社ワケとメッセージを伺いました。お話から、笑いの絶えない楽しい職場であることが伝わってきます。

第三工場戸建て部

ちづき まさる  
千月 勝さん

### 入社決め手

経験のある業種を検索、  
近所だったことが決め手に

前職では型枠大工をしていました。20代前半には鉄筋会社に勤めていたこともあります。せっかくなら経験のある仕事をしたいと思い、建設業を検索したところ、藤工業がヒット。面接から感じた会社の雰囲気の良さと、当時住んでいた家から徒歩20分という近さが決め手となりました。

### 入社して感じた藤工業の魅力

気まずい空気を和ませた胸上げ

フレンドリーで堅苦しくなく、気軽に話や相談ができる柔らかい雰囲気の魅力です。以前、急に欠勤した人が後日出勤したときに、気まずい表情をしていたことがありました。「会社に行きづらい」「申し訳ない」という気持ちを感じられたため、その人を皆で担いで、わっしょいわっしょいと胸上げをしたのです(笑)そのおかげで空気が和み、皆も「それじゃ仕事をしようか」と気持ちを切り替えられました。コミュニケーションが取れているからできること。入社を決めたときに想像していた以上の、笑顔の絶えない会社だと思います。



### 今後の目標!

「入って良かった!」と思ってもらえる会社になりたい

「きつい・汚い・危険」の3Kと言われる大変な仕事でも、職場が楽しければイメージも覆せるし、地域の人に「入社おめでとう!」と喜ばれる会社になれば、社長の掲げている「地域No.1」にもなれるはず。地域に認められ、働く社員が満足できる会社にしていくために、私たち社員も協力したいと思っています。

## 頑張れ! 技能実習生

今回も、日本で奮闘する技能実習生をご紹介! 藤工業での経験が成長につながっているようです!



岩槻第二工場  
ゲロゴ カイレル  
モリナさん

### 現在の業務内容

実習生としてまだ知らないことを学びながら仕事をしている毎日です。1日の仕事が進むように、仕事について勉強しています。

### 仕事の上で難しいと感じること

難しいと感じるのはコミュニケーションです。常に日本語の勉強をすることをマイルールにし、徐々に学んでいけるよう、同僚との会話を心がけています。

### 仕事のやりがい

自分の仕事を時間通りにこなし、ミスなく仕上げることにやりがいを感じます。

### 入社時と比べて成長したこと

入社以来、多くのことを学びました。以前は知らなかった仕事もできるようになりましたし、経験したことのない文化も少しずつ取り入れています。自分の夢が少しずつ実現しつつあると感じています。

### 今後の目標

家族の生活を充実させることです。特に妹の進学をサポートし、人生の目標を少しずつ達成していきたいと思っています。

### 神取さんからのメッセージ

かん どり しん いち

岩槻第二工場 工場長 神取 真一さん

11月に、第二工場に配属されて9か月になります。少しずつですが日本語や仕事を覚えて頑張ってくれて、成長を感じる日々。カイレルくんは身体も丈夫で、休むことなく頑張ってくれています。陽気で明るい性格なので、周りとの関係も良好。家族思いで優しい人柄を感じています。今後も自分の目標に向かって頑張り、仕事、日本語を覚えて会社に貢献していきましょう。また、日本の文化を感じて、日本の生活を楽しんでほしいなと思います。